



2 学年だよ！

3. 9
NO. 31

まもなく3月11日です。！

まもなく3月11日です。13年前、東日本大震災がありました。当時、私は石巻の内陸部の小学校に勤務しておりました。今までに感じたことのない揺れに恐ろしさを感じました。その後、学校は避難所となりしばらくは避難所の運営に関わることになりました。私の知り合いでご家族を亡くされた方もいました。私自身も海の近くの学校に勤務していれば生きていたのかわかりません。しかし、現在、私は生きています。生かされた者として微力ではありますが、あの震災を風化させずにできる範囲で子供たちに伝えていこうと思っています。これまで避難訓練や道徳、朝の時間などに子供たちにその悲惨さや復興の歩みなどを話してきました。

10年以上が経ち、我々大人にも「毎年のこと」のような慣れみたいなものがでてきたのではないのでしょうか。私は毎年3月11日午後2時46分に黙祷をしています。震災後1年、2年は多くの方がその時間に足を止めてそれぞれの場所で黙祷をしたと思います。ニュースでは、コンビニに車を停めて黙祷する姿やスーパー等でも手を止めて黙祷をする姿を見ました。今はどうでしょうか？保護者の皆さんはどうしていますか？

先日、県内ニュースで昨年の3月11日の様子が放送されていました。午後2時46分でも普通に仕事をしたり、コンビニで買い物をしたり、お店で食事をしたりする姿が映っていました。すっかり日常を取り戻し、復興した様子をうれしく思うと共に、宮城県民として、毎年1回、その時間だけでも手を止めて被災した方や犠牲になった方に思いを馳せたいものだという思いも持ちました。

1月1日に発生の「石川県能登半島地震」により、未だ避難所生活を続けている方々もいらっしゃいます。ご家庭でも防災や命の大切さについて考えるきっかけにしていいただければと思います。